



# 平成30年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 高橋カーテンウォール工業株式会社  
 コード番号 1994 URL <http://www.t-cw.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 高橋 武治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 市川 尚

TEL 03-3271-1711

四半期報告書提出予定日 平成30年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年12月期第1四半期の連結業績(平成30年1月1日～平成30年3月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年12月期第1四半期	1,012	37.0	94	57.4	107	62.6	69	62.8
29年12月期第1四半期	1,606	40.7	221	50.0	288	34.9	186	58.1

(注) 包括利益 30年12月期第1四半期 67百万円 ( 62.0%) 29年12月期第1四半期 177百万円 ( 59.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年12月期第1四半期	7.93	
29年12月期第1四半期	21.30	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年12月期第1四半期	12,133	7,413	61.1	848.73
29年12月期	11,790	7,433	63.0	850.99

(参考) 自己資本 30年12月期第1四半期 7,413百万円 29年12月期 7,433百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年12月期		10.00		10.00	20.00
30年12月期					
30年12月期(予想)		10.00		10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年12月期の連結業績予想(平成30年1月1日～平成30年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,000	17.2	610	33.2	640	19.7	420	13.8	48.08
通期	8,000	3.0	1,250	9.2	1,290	2.4	850	10.2	97.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年12月期1Q	9,553,011 株	29年12月期	9,553,011 株
期末自己株式数	30年12月期1Q	817,813 株	29年12月期	817,763 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年12月期1Q	8,735,220 株	29年12月期1Q	8,735,248 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページの「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
(重要な後発事象) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における日本の経済は、堅調な設備投資や好調な企業業績に支えられ、雇用・所得環境も改善に向かうなど景気は緩やかな回復基調が持続しております。一方、海外では米国の保護貿易主義的な政策動向や中東・北朝鮮を巡る地政学リスクなどへの不安が根強く、為替市場は年初から円高傾向に転じるなど、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当建設業界におきましては、2020年のオリンピックが近づくにつれ、大型建設プロジェクトが次々と佳境に入り、労務費、資材費の上昇が起こっています。とくに建設技能労働者の人手不足が深刻化しており、各社、入職者確保に懸命な努力を続けています。

PCカーテンウォール業界では、しばらく低水準にとどまっていた各工場の稼働率が、今年から急激に高まる見通しです。そうした環境の中、当社も年半ばから、工場の生産能力の上限に達する見込みです。高水準の生産量の中で、品質と納期を守りながら安全に生産・出荷・取付してゆくことが今後の課題です。

プールを手掛けるアクア事業では、主力である学校やスポーツクラブのプール以外のリニューアル工事業の拡大を図っております。

工場の稼働率は上昇しているものの、当第1四半期連結累計期間に完成して売上計上した物件は少なかったため、当社企業グループの業績は売上高は10億12百万円（前年同四半期比37.0%減）、営業利益94百万円（前年同四半期比57.4%減）、経常利益1億7百万円（前年同四半期比62.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益69百万円（前年同四半期比62.8%減）となりました。

なお、受注高は26億円（前年同四半期比65.8%増）、受注残高は163億85百万円（前連結会計年度末比10.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①PCカーテンウォール事業

当第1四半期連結累計期間においては、関東工場の稼働率が上昇を始めたものの、当第1四半期連結累計期間に完成して売上計上した物件が少なかったため、当セグメントの売上高は9億61百万円（前年同四半期比36.3%減）、セグメント利益は1億6百万円（前年同四半期比51.7%減）となりました。なお、売上のトレンドに季節性はございません。

#### ②アクア事業

当第1四半期連結累計期間においては、学校関連及びフィットネスクラブのプールの新設・改修の受注は予定を下回りました。当セグメントの売上高は36百万円（前年同四半期比50.0%減）、セグメント損失は8百万円（前年同四半期は4百万円のセグメント利益）となりました。

#### ③その他

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業（不動産賃貸事業を含む）であります。

当セグメントの売上高は13百万円（前年同四半期比35.9%減）、セグメント損失は5百万円（前年同四半期は5百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は121億33百万円と前連結会計年度末と比較して3億42百万円の増加となりました。これは主に、未成工事支出金が8億90百万円増加したことと、電子記録債権が4億78百万円減少したことによるものであります。

#### ②負債の状況

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は47億19百万円と前連結会計年度末と比較して3億62百万円の増加となりました。これは主に、未成工事受入金及び支払手形・工事未払金等が2億18百万円増加したことと、長期借入金が91百万円及び社債が50百万円減少したことによるものであります。

③純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は74億13百万円と前連結会計年度末と比較して19百万円の減少となりました。これは主に、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により69百万円増加したことで、配当金の支払いにより87百万円減少したことにより18百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月9日に公表いたしました連結業績予想と変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金預金	1,198,859	1,252,172
受取手形・完成工事未収入金等	923,444	668,688
電子記録債権	1,846,180	1,367,770
未成工事支出金	2,900,530	3,790,696
その他のたな卸資産	70,166	83,188
その他	89,585	168,562
流動資産合計	7,028,767	7,331,078
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	456,551	499,084
土地	1,846,191	1,846,191
その他(純額)	444,895	448,525
有形固定資産合計	2,747,638	2,793,801
無形固定資産	42,217	40,927
投資その他の資産		
投資有価証券	225,592	221,875
保険積立金	856,713	864,183
投資不動産(純額)	125,262	125,056
退職給付に係る資産	112,780	105,794
その他	668,544	667,602
貸倒引当金	△16,567	△16,567
投資その他の資産合計	1,972,325	1,967,944
固定資産合計	4,762,181	4,802,674
資産合計	11,790,948	12,133,752
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	631,255	849,268
短期借入金	564,000	539,000
1年内償還予定の社債	100,000	100,000
未成工事受入金	1,329,390	1,627,929
引当金	71,918	135,218
その他	371,229	321,199
流動負債合計	3,067,793	3,572,615
固定負債		
社債	160,000	110,000
長期借入金	531,000	440,000
役員退職慰労引当金	437,952	443,468
その他	160,554	153,827
固定負債合計	1,289,506	1,147,295
負債合計	4,357,299	4,719,910

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	3,283,363	3,283,363
利益剰余金	4,238,980	4,220,908
自己株式	△238,389	△238,429
株主資本合計	7,383,953	7,365,842
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,694	48,000
その他の包括利益累計額合計	49,694	48,000
純資産合計	7,433,648	7,413,842
負債純資産合計	11,790,948	12,133,752

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
売上高		
完成工事高	1,606,597	1,012,607
売上原価		
完成工事原価	1,215,354	753,845
売上総利益		
完成工事総利益	391,243	258,762
販売費及び一般管理費	169,773	164,453
営業利益	221,469	94,308
営業外収益		
受取利息	131	108
投資有価証券売却益	7,102	-
投資不動産賃貸料	1,935	1,949
受取家賃	2,968	3,074
鉄屑売却収入	5,288	8,083
テナント退店違約金受入益	55,400	-
その他	2,117	4,944
営業外収益合計	74,944	18,159
営業外費用		
支払利息	5,475	3,109
不動産賃貸費用	797	814
その他	1,392	593
営業外費用合計	7,665	4,517
経常利益	288,748	107,950
特別利益		
固定資産売却益	-	1,149
特別利益合計	-	1,149
特別損失		
固定資産売却損	9,923	-
固定資産除却損	1,264	0
特別損失合計	11,187	0
税金等調整前四半期純利益	277,561	109,100
法人税、住民税及び事業税	1,944	70,926
法人税等調整額	89,580	△31,107
法人税等合計	91,524	39,818
四半期純利益	186,037	69,281
親会社株主に帰属する四半期純利益	186,037	69,281



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年1月1日 至平成30年3月31日)
四半期純利益	186,037	69,281
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,362	△1,694
その他の包括利益合計	△8,362	△1,694
四半期包括利益	177,674	67,586
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	177,674	67,586

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,511,133	73,949	1,585,082	21,515	1,606,597	—	1,606,597
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,511,133	73,949	1,585,082	21,515	1,606,597	—	1,606,597
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	219,742	4,940	224,683	△5,314	219,369	2,100	221,469

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額2,100千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年1月1日至平成30年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	PCカーテン ウォール事業	アクア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	961,853	36,971	998,824	13,783	1,012,607	—	1,012,607
セグメント間の内部 売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	961,853	36,971	998,824	13,783	1,012,607	—	1,012,607
セグメント利益又はセ グメント損失(△)	106,097	△8,660	97,436	△5,228	92,208	2,100	94,308

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、システム収納家具事業と建設事業(不動産賃貸事業を含む)であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額2,100千円は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。